

【単年度事業評価様式】

南区地域子育て支援拠点事業
令和4年度重点目標評価結果・令和5年度重点目標

事業実施期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日(1年度目／5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人さくらザウルス 南区こども家庭支援課
事業目的	<p>市民が安心して子どもを産み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 南区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営 2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者にかかれた運営 3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営 4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営 5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることができる視点に立った運営 6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	<ol style="list-style-type: none"> 1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。 2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。

令和4年度重点目標の評価

令和4年度重点目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 妊娠期の方を含む多様な養育者と子どもが気軽に立ち寄って、過ごしやすい居場所になるよう、新型コロナウイルス感染防止対策に配慮しつつ、交流を促す工夫をします。 ② 南区内の子育て支援関係機関・団体等との連携を深め、地域の子育て課題に向き合う具体的な取組が進むよう働きかけていきます。
取組内容	<ol style="list-style-type: none"> ① プログラムのオンライン開催と対面開催については、開催目的を確認・再検討した上で、これまでの反省を生かし、より多くの利用者が参加しやすい形で実施します。 ② 3年ぶりに「まちのほっとスペーススタンプラリー」を実施し、南区子育てもっとネット参加団体・施設の連携を再確認することで、地域の取組み再開を後押しします。また、ネットワークでのオンラインの活用をさらに進めていきます。
取組の成果	<ol style="list-style-type: none"> ① 参加希望が多い対面型のプログラムを、新型コロナウイルス感染防止に配慮しつつ開催しました。父親、プレママ、双子・三つ子養育者、シングルママ、はぐはぐの樹利用初心者等、様々な養育者に向けたプログラムはいずれも好評で、普段の利用にも繋がっています。また、オンラインプログラムとしては「幼稚園・保育園説明会」を実施し、事前に資料を郵送するなどの丁寧な対応で満足度の高いものになりました。 ② スタンプラリーは3年ぶりの開催にもかかわらず、スタンプポイント・景品交換場所ともに快くご協力いただき大きなトラブルなくスムーズに実施できました。一部の子育てサロンからは「スタンプラリーで参加者が増えた」との振り返りをいただき地域の支援場所の再開を応援できたと思います。また、南区子育てもっとネット会議ではハイブリット開催によって初めて出席していただけた施設もあり、オンラインのメリットが感じられました。南区内の常設の子育てひろば6か所による「みなともネットワーク」を発足させ合同研修会、オレンジリボンキャンペーンと児童虐待防止パネル展を協力して行い連携を深めることが出来ました。

取組の課題	<p>① オンラインプログラムはプログラムによって参加申し込みが少なく、また利用者の中にはオンライン上で初めて会う方との交流は難しいとの声もあり、内容的な制約を克服することが難しかったです。</p> <p>② 南区子育てもっとネット会議では、対面とオンラインの両方の良さを活かしてハイブリット開催を行っていましたが、エリア会場に参加人数の差ができた、全体の企画内容が似通ってくるなど、今後どのように克服すべきか検討が必要です。</p>
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

次年度重点目標

令和5年度 重点目標	<p>① 地域ぐるみの支え合いによる「横浜子育てサポートシステム」の良さを伝えて会員増加を図るとともに、会員が安心して援助活動できる環境を作ります。</p> <p>② 子育てにおける「つながり」「ふれあい」の大切さが、拠点利用者や地域関係者に伝わるよう、ひとつひとつのプログラムや行事を丁寧に実施し、またニーズに合った情報発信を行います。</p>
取組内容	<p>① 横浜子育てサポートシステムの新事業の開始に向け、とりわけ提供・両方会員の負担を軽減できるよう出来るだけの準備を行います。関係機関のご協力をいただきながら、あらゆる場面での会員増加の呼びかけを行います。</p> <p>② ひとつひとつのプログラム・行事について、その目的を再確認しながら企画を立てるとともに、しっかりと振り返りを行って、より効果的な内容になるよう、ブラッシュアップしながら進めていきます。</p>